

平成30年7月2日からの大雨による 出水の概要（速報版）

網走開発建設部では、平成30年7月2日からの大雨による出水の概要（速報版）について、別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

平成30年7月2日からの大雨により、網走開発建設部が管理する常呂川の洪水予報基準観測所で「氾濫危険水位」を超えるなど複数の河川において水位上昇が観測されましたが、これまで進めてきた河川整備や洪水調節施設によって出水時の水位低下が図られ、顕著な被害の発生を回避することができました。

また、網走開発建設部では、24時間体制で気象及び河川の情報を監視し、被害状況把握などのため現地情報連絡員（リエゾン）を派遣するとともに、災害対策用機械による被災箇所の監視を行うなど、自治体支援を行いました。

詳細は、別紙を参照してください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部

治水課 課長 野呂田 亮 電話 0152-44-6445（内線 291）

治水課 課長補佐 佐藤 貴弘 電話 0152-44-6449（内線 292）

網走開発建設部HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>



平成30年7月2日からの大雨による 出水概要 【速報版】

国土交通省 北海道開発局

網走開発建設部

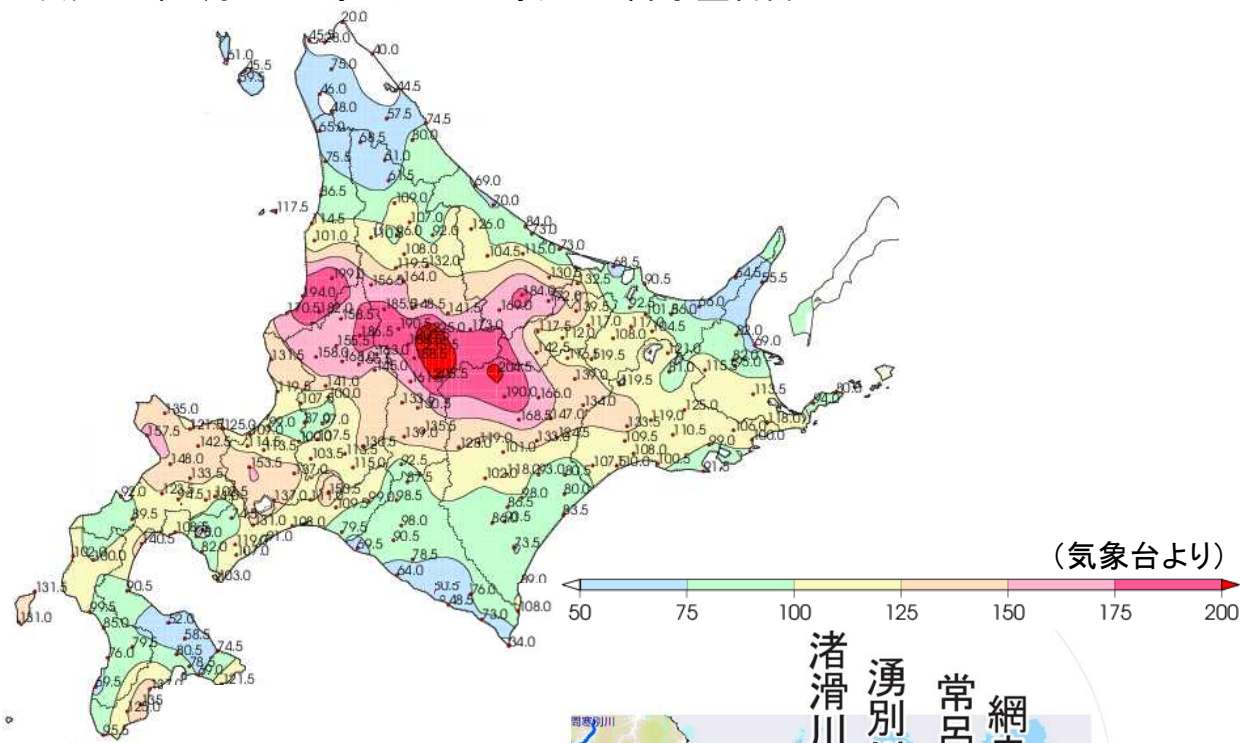
平成30年7月9日

1. 降雨の概要

○網走川・常呂川・湧別川・渚滑川流域では、7月2日からの前線に伴う大雨に見舞われました。

降雨の概況

平成30年7月2日0時から6日0時までの降水量合計



7月3日6:00時点

7月5日10:00時点

(国土交通省統一河川情報 雨量レーダーより)

主な雨量観測所の記録概要

■網走川

つべつふたまた

津別二又(気象庁)【津別町】

- ・累計雨量: 117mm(7月3日 2:00~7月6日 3:00)
- ・最多1時間雨量: 11mm(7月3日 23:00)

■常呂川

しいところ

椎常呂(開発局)【置戸町】

- ・累計雨量: 176mm(7月3日 1:00~7月5日 20:00)
- ・最多1時間雨量: 14mm(7月3日 8:00)

■湧別川

かみむり

上武利(開発局)【遠軽町】

- ・累計雨量: 194mm(7月3日 1:00~7月6日 5:00)
- ・最多1時間雨量: 17mm(7月4日 3:00)

■渚滑川

たきのうえ39せん

滝ノ上39線(開発局)【紋別市】

- ・累計雨量: 168mm(7月3日 1:00~7月6日 2:00)
- ・最多1時間雨量: 15mm(7月4日 1:00)

※本資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

2. 河川水位の状況

○今回の出水では、上川沿水位観測所(常呂川)において、氾濫危険水位を超過したほか、網走川・常呂川・湧別川・渚滑川の水位観測所において、氾濫注意水位を超過しました。

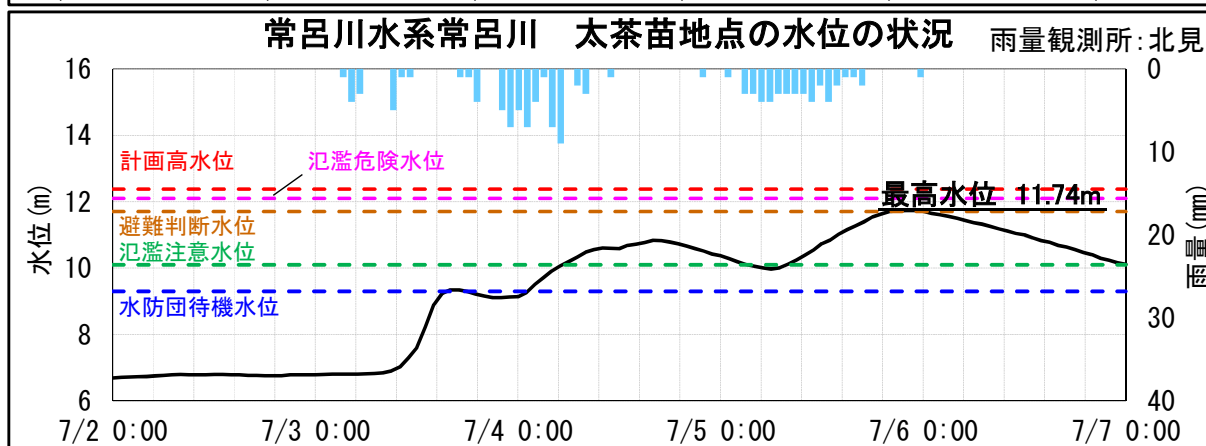
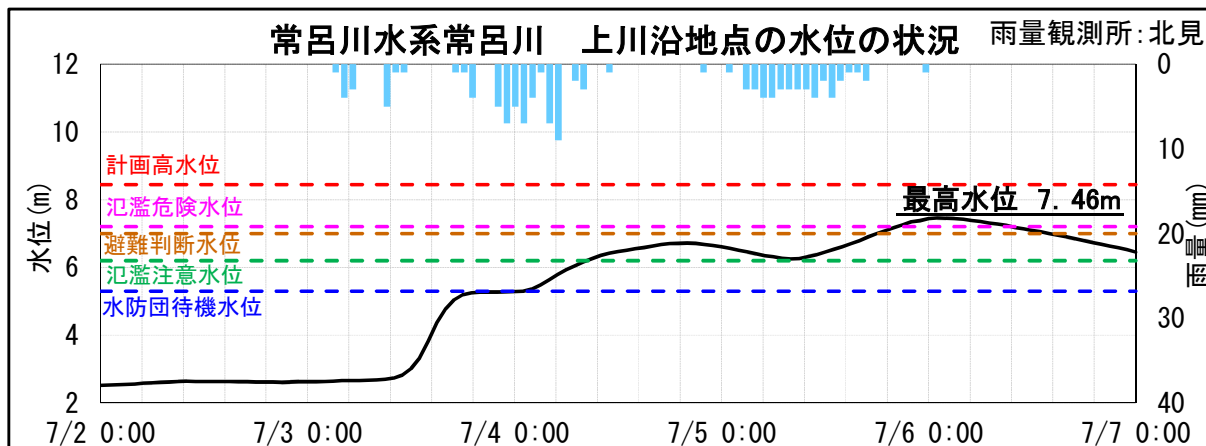
(位置図)



日吉地区(KP22付近)河道状況



福山27号樋門付近状況



○氾濫危険水位を超過: 1河川1観測所

・常呂川: 上川沿

○避難判断水位を超過: 1河川1観測所

・常呂川: 太茶苗

○氾濫注意水位を超過: 5河川 10観測所

・網走川: 美幌 本郷 川尻漁場

・網走川水系美幌川: 美幌橋

・常呂川: 忠志

・湧別川: 遠軽 中湧別

・渚滑川: 上渚滑 ウツツ橋 渚滑橋

○水防団待機水位を超過: 4河川5観測所

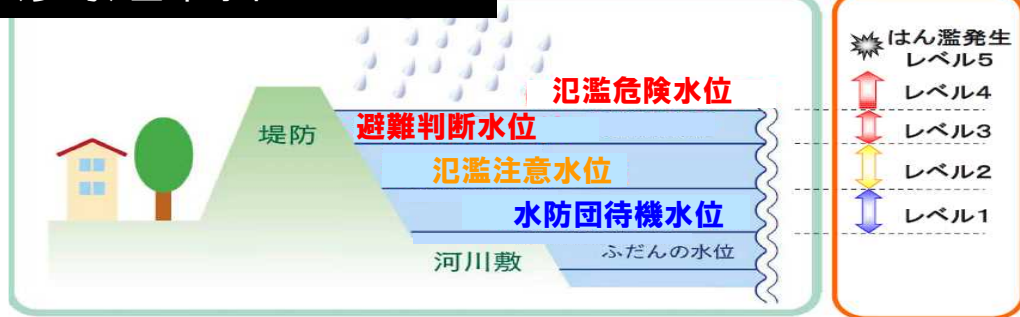
・網走川: 津別 おおまがり

・常呂川: 河口

・常呂川水系無加川: 北光社

・湧別川: 開盛

(参考) 基準水位について



○氾濫危険水位

市町村長の避難勧告等の発令判断の目安となる水位

○避難判断水位

市町村長の避難準備・高齢者等避難開始の発表判断の目安となる水位

○氾濫注意水位

水防団の出動の目安となる水位

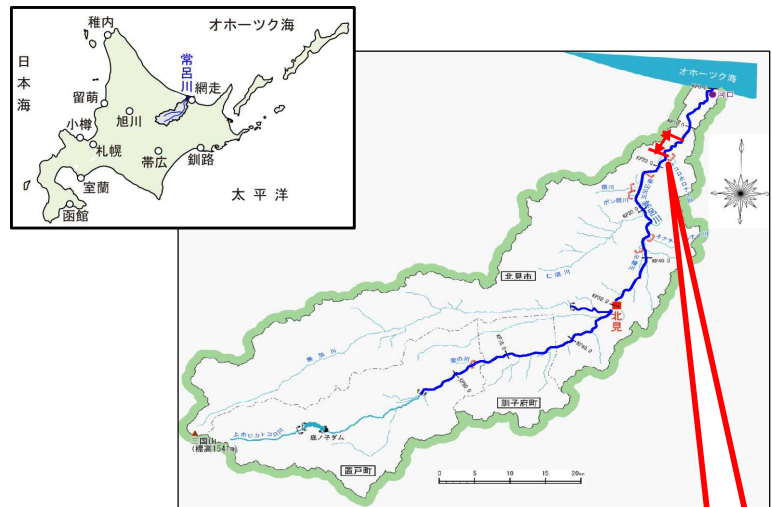
○水防団待機水位

水防団が水防活動するため待機する水位

※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

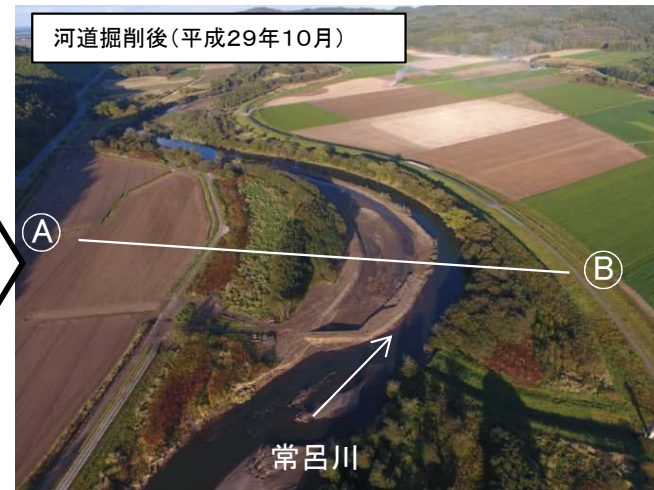
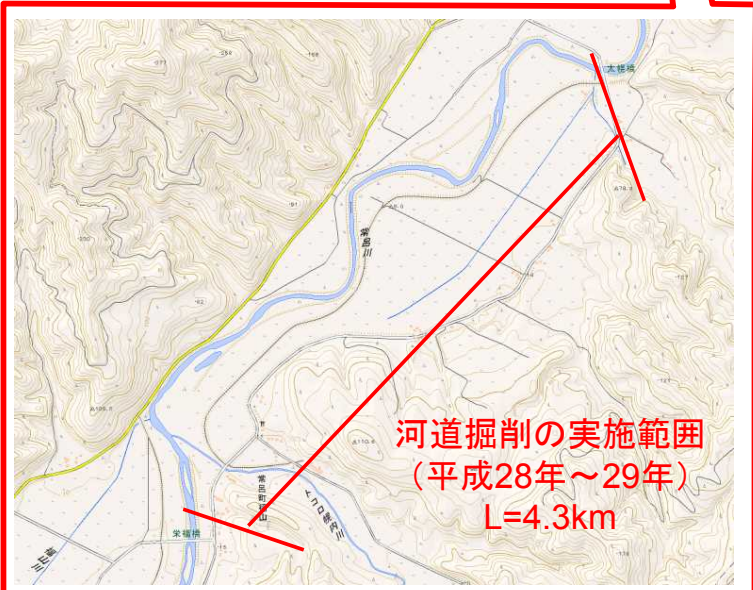
3. 北海道緊急治水対策プロジェクトの効果(常呂川水系 常呂川)

- 常呂川では、平成28年8月洪水災害を受け、北海道緊急治水対策プロジェクトの一環として、平成29年度末までに太幌橋から上流区間kp12.7~kp17.0について河道掘削を実施しました。
- 緊急復旧対策の河道掘削により、復旧前と比べ約 50cmの水位低下を図りました。また、堤防法尻の噴砂の発生は確認されませんでした。



掘削による水位低減効果

常呂川の水位の状況 (KP15.0)



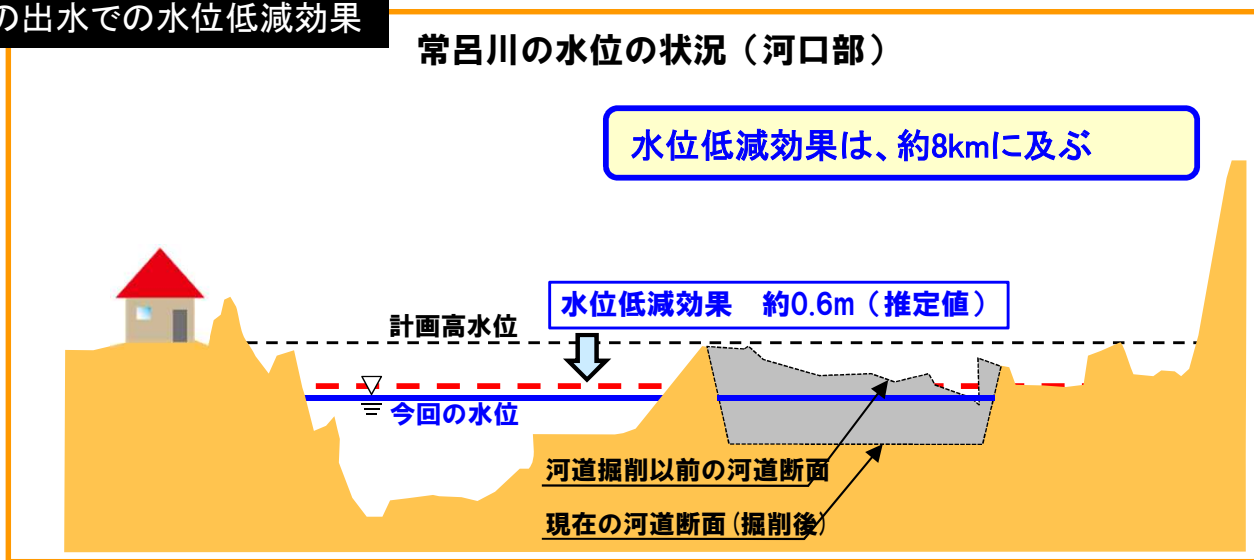
4. 常呂川河口部掘削の効果

○常呂川では、平成4年9月等の洪水災害を受け、洪水を流す流路を変更する河道掘削を実施し、**掘削前と比べ約60cmの水位低下を図りました。**



今回の出水での水位低減効果

常呂川の水位の状況(河口部)



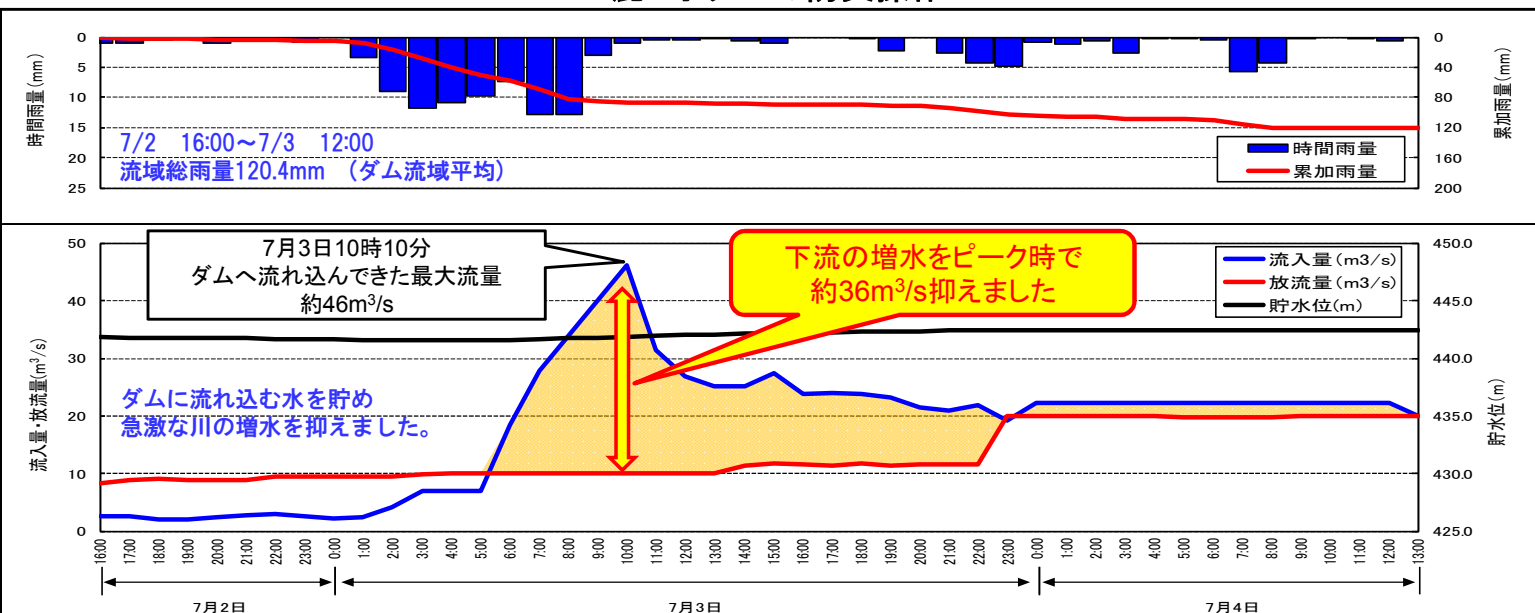
※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

5. ダム整備が効果を発揮(北海道 鹿ノ子ダム) (国管理)

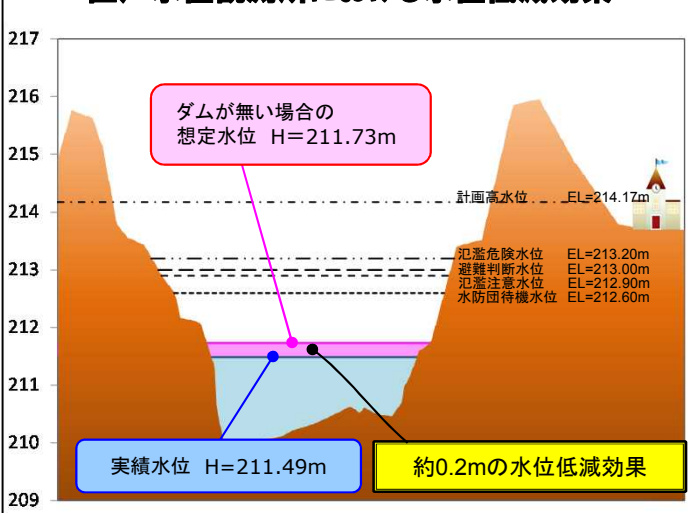
- 平成30年7月2日からの大雨により、鹿ノ子ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 鹿ノ子ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の置戸町(置戸水位観測所)では、水位を約0.2m低減させる効果があったものと推測されます。



鹿ノ子ダムの防災操作



置戸水位観測所における水位低減効果



鹿ノ子ダム貯水状況



常呂川置戸水位観測所付近



6. 網走開発建設部の取組

- 網走開発建設部では、7月4日12時00に災害警戒本部を設置し、昼夜を問わずパトロール等による河川情報の収集を行い、被害状況の早期発見に努め、自治体への情報提供を行いました。
- 遠軽町に計4名の現地情報連絡員(リエゾン)を派遣するとともに、遠軽町いわね大橋の被害状況の監視等のため衛星通信車・照明車を派遣し、情報提供を行いました。



河川巡視による情報収集



24時間体制で河川情報を収集



リエゾンの派遣による情報収集



照明車の派遣(いわね大橋)



衛星通信車による監視(いわね大橋)



ダム操作による洪水調節